

# 地方創生関係交付金 ～事業・K P I 検証資料～

## 目次

### 【本編】

- |   |              |     |   |
|---|--------------|-----|---|
| 1 | 地方創生関係交付金の概要 | ・・・ | 1 |
| 2 | 先行型交付金       | ・・・ | 2 |

### 【参考資料】（以下は次回以降での検証となるため、今回は参考資料として添付）

- |   |                       |     |    |
|---|-----------------------|-----|----|
| 3 | 加速化交付金                |     |    |
|   | （1）地場産業の振興事業          | ・・・ | 8  |
|   | （2）市内観光の推進による市街地活性化事業 | ・・・ | 12 |
| 4 | 推進交付金                 |     |    |
|   | （1）三木市生涯活躍のまちづくり事業    | ・・・ | 18 |
|   | （2）ゴルフを核としたまちの活性化     | ・・・ | 22 |
| 5 | 拠点整備交付金               | ・・・ | 26 |

## KPI判定欄の凡例

- ◎ …目標を上回った
- …目標値に達成した（目標値と同程度）
- △ …目標値に若干及ばなかった（達成率が概ね8割程度）
- × …目標値を著しく下回った
- …実績値の公表時期が未到来等で判定が不可能

（注）毎年度の目標値は、交付金申請書及び地域再生計画に記載した目標値を基準に、各年度に按分して設定した参考指標値。

## KPI推移表の見方

三木市創生計画で定めたKPIの対象期間はH27～H31年度が基本となりますが、地方創生関係交付金や地域再生計画が認定された年度の違いなどにより、KPIの対象期間が異なる場合があります。現時点では、H27～H31年度、H28～H32年度の2種類があり、それぞれ図表の色を変えて表示しています。

**青色**の表…KPIの対象期間が「H27～H31年度」のもの。

定住促進助成件数						
区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	340件	420件	500件	—	—
実績	150件 (H26)	293件			—	—

桃色の欄は、効果検証の対象年度

**緑色**の表…KPIの対象期間が「H28～H32年度」のもの。

整備集合住宅への移住世帯数						
区分	目標設定の 起点(実績)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標	—	—	0世帯	0世帯	50世帯	50世帯
実績	—	—				

桃色の欄は、効果検証の対象年度

# 1 地方創生関係交付金の概要～地方創生における国の財政支援～

国は地方創生を推進するため、平成26年度から「先行型交付金」、「加速化交付金」、「推進交付金」、「拠点整備交付金」の4つの交付金を整備し、自主的・主体的な取組、先導的な取組、従来の縦割り事業を超えた取組等を中心に地方自治体を支援しています。

## 概要(イメージ)

【H26年度】

【H27年度】

【H28年度】

### 先行型交付金

H26補正予算  
基礎交付 1,400億円  
上乗せ交付 300億円

### 加速化交付金

H27補正予算  
1,000億円

### 推進交付金

H28当初予算  
1,000億円

### 拠点整備交付金

H28補正予算  
900億円

地方版総合戦略の策定段階

地方版総合戦略の事業推進段階

### 先行型交付金

地方版総合戦略の策定に先行して行う事業のうち、総合戦略に位置付けられる見込みがあるものに対する交付金。

### 加速化交付金

地方版総合戦略に合致する事業で、まち・ひと・しごと創りを推進するものうち、先駆的な事業に対する交付金。

### 推進交付金

地方創生のさらなる深化に向けた、官民共同・地域間連携・政策官連携等による先導的な事業に対する交付金。

### 拠点整備交付金

地方版総合戦略に位置付けられた施設整備等で、ソフト事業との連携など地方創生への波及効果を高める取組に対する交付金。

今回効果  
検証を実施。

検証の対象となる年度のKPI実績値が確定していないため、次回以降に効果検証。  
(今回は事業内容等の報告と意見交換のみ行う)

## (1) 定住促進事業

(H26年度からの継続事業)

交付金充当額(実績) : 2,152万円

40歳未満の夫婦が新たに市内に住宅を建築(取得)する際に課税される固定資産税及び都市計画税の一部に対し助成。

**課題** 20～30代を中心とした若者世帯の人口流出

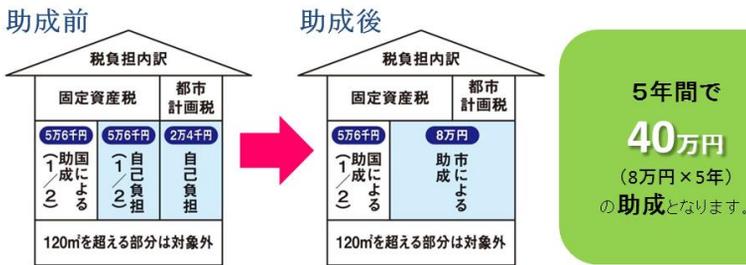
**取組方針** 住宅建築(取得)に対して助成を行い、移住・定住を促進

**取組内容** (対象) 夫婦いずれかが40歳未満で、住宅を新築又は購入された方  
(助成期間) 一般住宅の場合3年間  
長期優良住宅の場合5年間

※平成27年度 地区別集計表

地区名	件数	交付決定額(千円)
三木	95	7,225
自由が丘	85	6,423
緑が丘	38	3,574
別所	35	2,438
青山	21	1,646
その他	19	1,175
合計	293	22,481

【例】評価額1,000万円の家屋(延床面積150㎡)の場合の助成額



## 新たな動き

平成29年度当初予算案  
転入者に対する

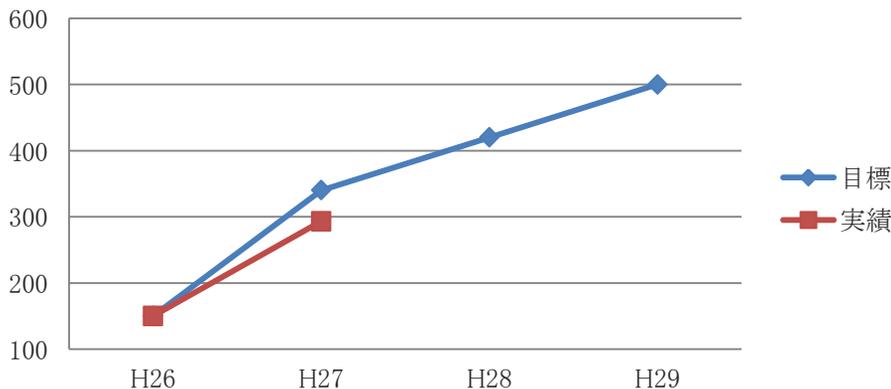
- ・新築住宅取得助成
- ・リフォーム助成

## 定住促進助成件数

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	340件	420件	500件	—	—
実績	150件 (H26)	293件	H28.12月時点 137件			

※2018年に事業終了を予定。

定住促進助成件数(単位:件)



## KPI判定

△

## コメント

- ・参考目標値対比で85%の達成率。
- ・件数は増加基調で地方創生に効果あり。新たな助成事業と合わせ事業継続。

## (2)「話せる英語教育」推進事業

(H27年度からの新規事業)

交付金充当額(実績) : 1,854万円

英語教育を小学1年生から導入し、中学3年生までの9年間で英語による日常会話ができるようカリキュラムを作成し、グローバル社会に対応した「ひとづくり」を実施。

**課題** 国際化に対応した英語教育の必要性

**取組方針** 「聞く」、「話す」を中心とした英語教育に取り組み、ALTや市民ボランティアと連携し、児童生徒が英語に慣れ親しめる環境をつくる。

**取組内容**

- ・英語教育の時間増加
- ・ALTの増員
- ・夏休みイングリッシュキャンプ  
英語で歌やゲームをしたり、昼食やオリエンテーションを行い、ネイティブスピーカーとふれあう機会を設ける。



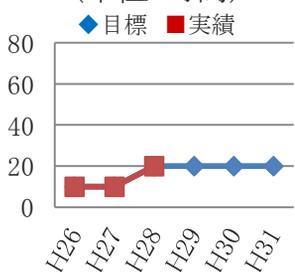
英語で「だるまさんが転んだ」を行っている様子。

内容	H27	H28
夏休みイングリッシュキャンプ(小1~3)	80人	60人
夏休みイングリッシュキャンプ(小4~6)		60人

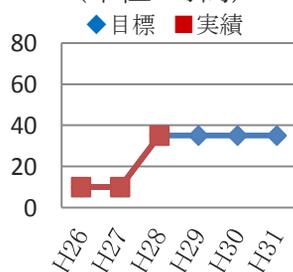
### 小学生の英語教育時間

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	小1-2 10時間 小3-4 10時間 小5-6 35時間	小1-2 20時間 小3-4 35時間 小5-6 70時間			
実績	—	小1-2 10時間 小3-4 10時間 小5-6 35時間	小1-2 20時間 小3-4 35時間 小5-6 70時間			

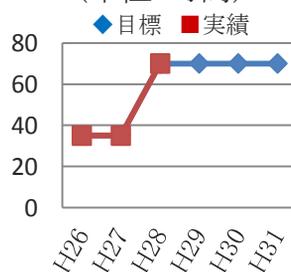
小学校1~2年生  
(単位:時間)



小学校3~4年生  
(単位:時間)



小学校5~6年生  
(単位:時間)



#### KPI判定



#### コメント

- ・目標どおりの実績。
- ・キャンプは好評で事業継続方針。

### (3)ハーブ産業推進事業

(H23年度からの継続事業)

交付金充当額(実績) : 300万円

ハーブによる農業の6次産業化の推進により、三木の新たな特産品として、全国に発信するとともに、別所ゆめ街道を中心とした地域活性化を進める。

#### 課題

- ・ 農業の6次産業化
- ・ 新たな三木のブランドづくりの必要性

#### 取組方針

ハーブの6次産業化に取り組む「三木市ハーブ産業推進協議会」を支援するとともに、ハーブを中心とした新たなブランドづくりに挑戦。

#### 取組内容

同社への支援のほか、観光施設や物産展でのPRやふるさと納税での記念品として取り上げ支援。



ふるさと納税の記念品(イメージ)  
商品例 : ハーブティー  
パウンドケーキ  
バジルカレー ほか

#### 三木市ハーブ産業推進協議会について

##### 沿革

- ・ ハーブを栽培する地元農家グループとそのハーブを加工するボランティアグループ「ハーブ工房みきヴェルデ」を統合し、H24. 4月に結成。
- ・ H27年11月に「株式会社みきヴェルデ」として法人化。



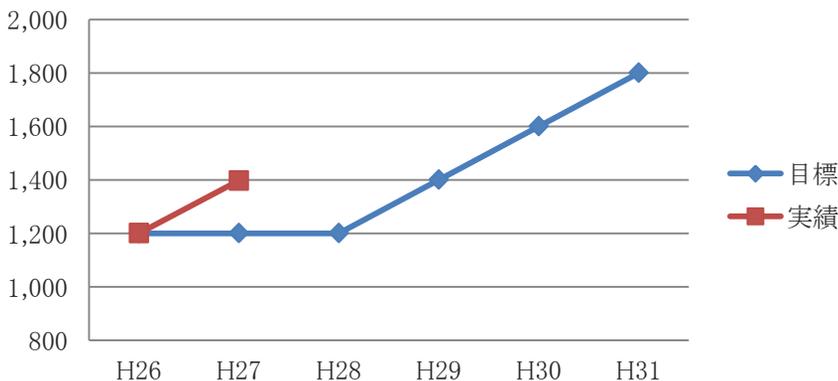
##### 内容

ハーブの栽培から加工、販売までを行う6次産業化に取り組む。

### ハーブ産業化推進による販売額

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	1,200万円	1,200万円	1,400万円	1,600万円	1,800万円
実績	1,200万円 (H26)	1,397万円	H29.6月 公表見込			

ハーブ産業化推進による販売額(単位:万円)



#### KPI判定



#### コメント

運営組織の経営努力のほか、各種イベントでの市のPRも奏功し、参考目標値を大きく上回った。

## (4) マルシェによる商店街活性化事業

(H26年度からの継続事業)

交付金充当額(実績) : 300万円

人と人とのコミュニティの場としてマルシェ(定期市)を開催し、商店街の活性化やまちの賑わいを創出する。

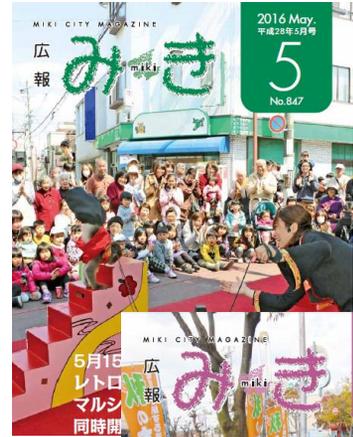
**課題** 大型店やネット通販の進出等で、薄れゆく商店街のにぎわいを取り戻す

**取組方針** マルシェ(定期市)を開催し、まちの人がふれあう機会を創るとともに、商店街のにぎわいを創出

**取組内容** 下記のマルシェ開催を支援  
 ・みき元気マルシェ(明盛商店街) 年2回  
 ・緑が丘さんさんマルシェ(サンロード商店街) 年1回

**新たな動き** H28年度から、従来から地元住民や団体が主体となり実施されてきた「レトロヂ」、「ナメラン」、「ハロウィン」など商店街を中心に開催されているイベントへの支援も開始。

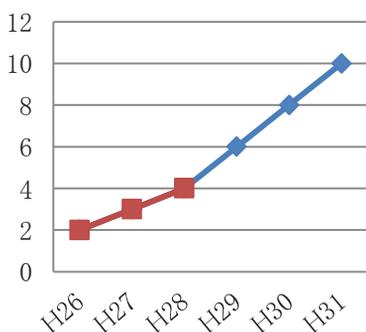
※「レトロヂ」、「ナメラン」、「ハロウィン」については、13ページで紹介。



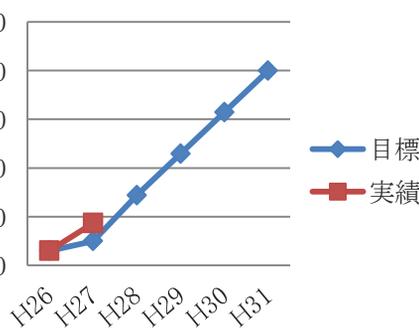
### マルシェ開催数・来場者数

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	3回 10,000人	4回 19,400人	6回 27,933人	8回 36,466人	10回 45,000人
実績	2回 8,000人 (H26)	3回 13,700人	3回 集計中			

マルシェ開催数  
(単位:回)



マルシェ来場者数  
(単位:人)



### KPI判定



### コメント

開催数の増加により集客数も増え、目標達成率137%となった。

## (5) 住宅リフォーム促進事業

(H25年度からの継続事業)

交付金充当額(実績) : 1,100万円

市民が市内業者を活用した住宅リフォーム工事を行った場合に、その費用の一部を助成することで、市内中小企業の振興を図る。

**課題** 市内中小企業の振興

(表1) 取組実績

**取組方針** 住宅リフォームについて助成メニューを整備

**取組内容** (対象工事) 市民が市内業者に発注した住宅リフォーム工事(20万円以上)  
(助成額) 費用の10分の1(上限額10万円)

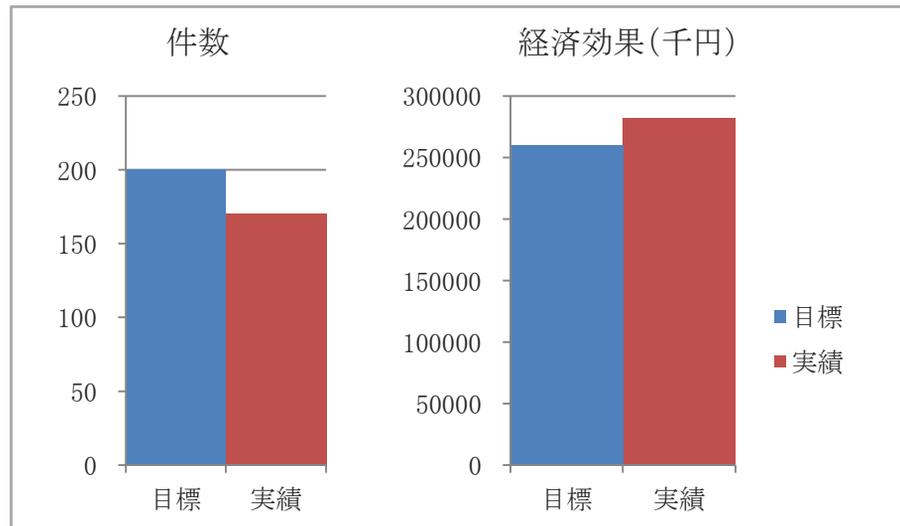
年度	件数	助成交付額(千円)
H25	627	49,968
H26	438	35,962
H27	170	14,989
H28	92	7,742
合計	1,235	100,919

**新たな動き** 平成29年度当初予算案  
転入者に対する  
・新築住宅取得助成  
・転入者に対するリフォーム助成

## 住宅リフォーム促進助成件数・経済効果(※)

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	200件 260,000千円	H25、26年度は全ての申込みを助成対象としていたが、平成27年度から上限を設定。そのため平成28年以降については、創生計画のなかでの目標設定をしていない。			
実績	438件 580,442千円	170件 281,947千円				

※経済効果は、助成した工事の費用総額。



### KPI判定

○

### コメント

件数は参考目標値に及ばなかったものの、経済効果では目標値を上回る成果を上げた。転入促進の視点にシフトしながら、事業継続。

※単年度のKPI目標につき、棒グラフで表記。



(1) 地場産業の振興事業 ① 金物振興

総事業費 : 3,421万円

三木金物のブランド力を高め、しごとの創出、担い手の育成、若者の定住につなげる。

- 課題**
- 三木金物の強みを活かした効果的な情報発信を行う人や仕組みが不十分。
  - 伝統的な鋸(のこぎり)、鑿(のみ)、鉋(かんな)等の大工道具の市場開拓。

**取組方針** 三木金物のブランドづくりをプロデュースするトータルコーディネーターを選任するとともに、海外への市場開拓を支援。

**取組内容** 主な取組は下記の通り。

三木金物トータルコーディネーター(新規事業)



- 日本観光振興協会総合調査研究所の丁野朗(ちょうのあきら) 所長(H28.12月選任)
- 3か月に1度ほど招き、助言を受ける。(まずは、日本語および外国語のパンフレット作りから進める)

三木金物海外進出戦略(既存事業)



- 米ウッドクラフト、台湾五金展に出展。
- 独アンビエンテへの視察。
- 世界各地の展示会を調査し、販路開拓につなげていく。

新製品開発推進事業(既存事業)

- 三木金物ニューハードウェア賞の認定により、金物新製品の研究意識の高揚を図り、産業振興につなげる。認定製品には助成金を交付。



鍛冶でっせ！(既存事業)

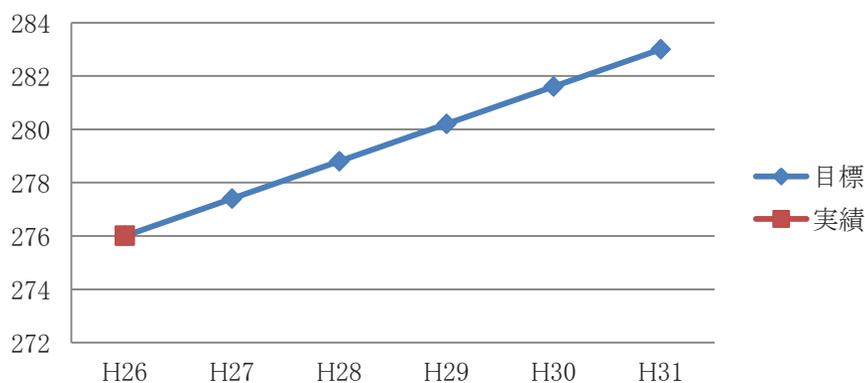
- 三木金物の展示会。親子体験やゲームなど各種イベントを集約し三木金物に親しめる場所づくりを創出。



## 金物製品出荷額

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	277.4億円	278.8億円	280.2億円	281.6億円	283億円
実績	276億円 (H26)	H29.9月頃 公表見込	H29.12月頃 公表見込			

金物製品出荷額(単位:億円)



### KPI判定

—

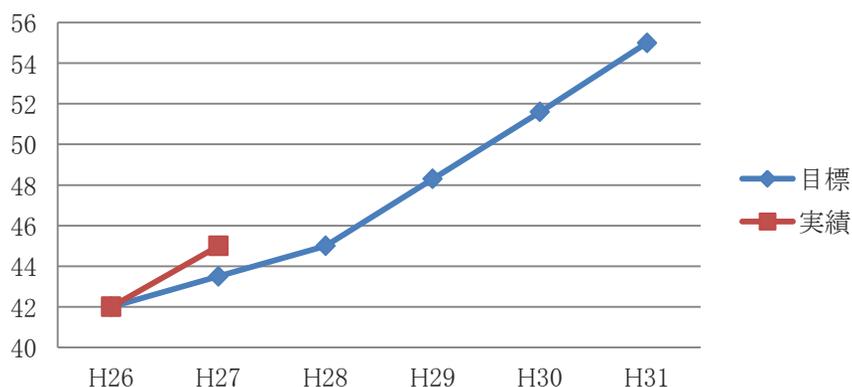
### コメント

検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## 金物製品輸出額

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度 (H27.1~12月)	H28年度 (H28.1~12月)	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	43.5億円	45億円	48.3億円	51.6億円	55億円
実績	42億円 (H26)	45億円	43億円			

金物製品輸出額(単位:億円)



### KPI判定

△

### コメント

目標達成率95%。H28.12月に選任した金物コーディネーターとともにブランド力強化と海外進出支援に注力方針。

## ②山田錦振興

総事業費：1,441万円

山田錦の生産奨励を行うことにより、しごとの創出、担い手の育成、若者の定住につなげていく。

### 課題

- ・農業従事者の高齢化や後継者不足
- ・農業所得の向上など、持続可能でたくましい農業の創出

### 取組方針

- ・日本酒ブームによる山田錦の需要増加にあわせた生産奨励
- ・生産組織の法人化による経営基盤の強化

### 取組内容

主な取組は下記の通り。

#### 山田錦奨励事業補助金(既存事業)

近年の需要の増加に対応するため、農業改良普及センター、市内農協とともに  
枠外制度を  
活用して  
増産を推進。

年度	奨励金額 (単位：千円)
H26	9,307
H27	13,814

### 関連内容

#### インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)

- ・SAKE部門審査会開催(神戸市)
- ・三木市の稲見酒造「葵鶴 大吟古酒」が古酒の部「銅賞」
- ・外国から招かれた審査員の田植え体験を実施  
(体験の様子を三木市You-tubeで公開)

#### 山田錦まつり

- ・山田錦の館で開催されるまつり。高級酒の試飲等に加え、餅まきやキッズダンスなどイベントも充実。
- ・H28年度は神戸電鉄粟生線活性化協議会の企画「貸切列車&貸切バスで山田錦まつりへGO」と連携。居酒屋風に模様替えした貸切列車内で日本酒を楽しむ内容で市外からの誘客を促進。

#### 山田錦80周年祭

- ・三木市産の山田錦を使う国内の酒蔵24社が集ったイベントを開催。試飲会のほか、山田錦の歴史や特性を伝えるセミナーも開催。

#### イノシシ等による農業被害対策

- ・イノシシやシカ等による農業被害が深刻化しており、H27年度に策定した「イノシシ撃退10年大作戦」を前倒しで推進。

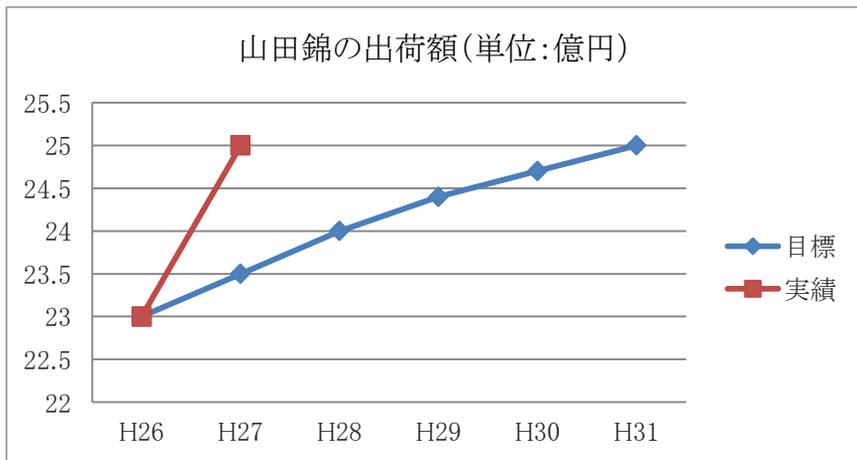


畦畔等の被害



## 山田錦の出荷額

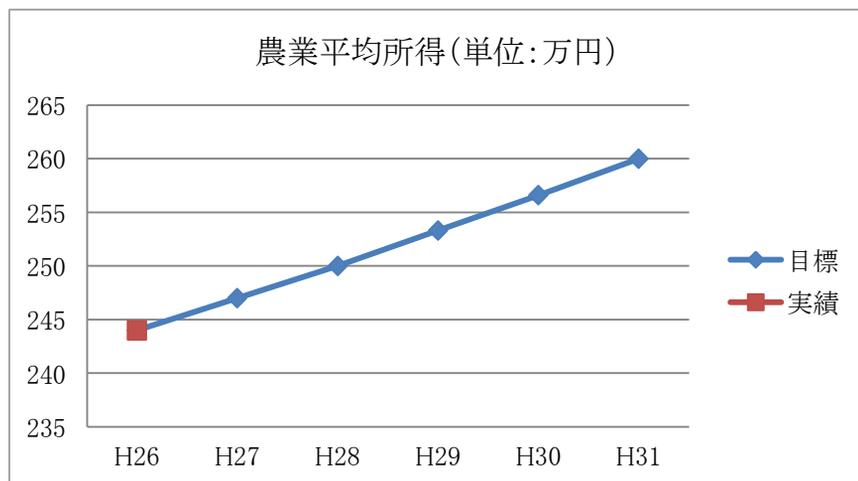
区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	23.5億円	24億円	24.4億円	24.7億円	25億円
実績	23億円 (H26)	25億円	H29.1月時点 22.5億円			



KPI判定
—
コメント
検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## 農業平均所得

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	247万円	250万円	253.3万円	256.6万円	260万円
実績	244万円 (H26)	H29.3月以降 公表見込	H30.3月頃 公表見込			



KPI判定
—
コメント
検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## (2) 市内観光の推進による市街地活性化

総事業費：1億3,807万円

歴史、文化、自然など魅力あふれる観光資源に磨きをかけ、観光施設どうしを「つなぐ」ことで、市内の観光周遊や商店街を中心とした経済の活性化を図る。

### 課題

- ・観光施設どうしが点在し、「線」としてつながっていない。
- ・観光周遊の流れがゴルフや道の駅、大型公園に偏り、商店街を中心とした店舗など市内の経済効果に波及していない。

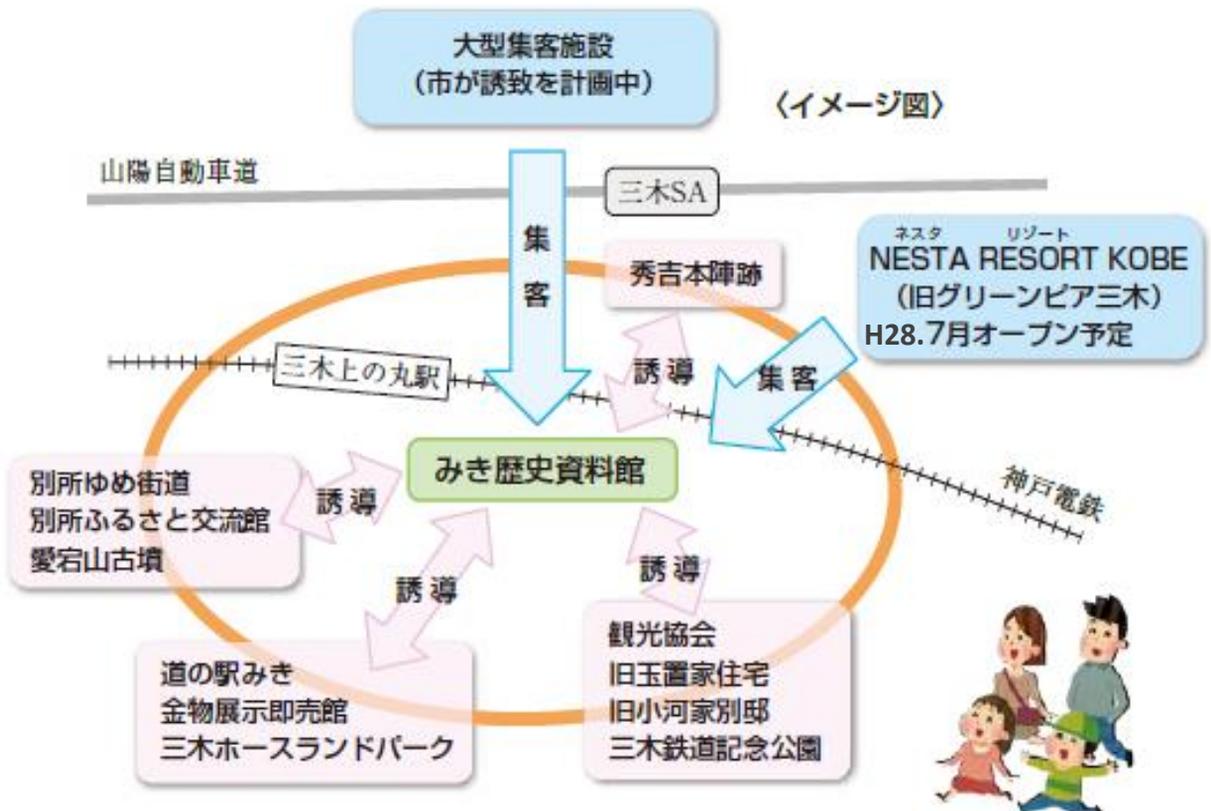
### 取組方針

- ・地域一体となって既存の観光資源(宝)を磨くことによる魅力向上
- ・各施設で活躍する人材の育成とロコミを生み出すしくみづくり
- ・観光施設等のネットワーク化による経済の好循環化

### 取組内容

- ・リニューアルした「みき歴史資料館」で、情報発信やまちおこしなど歴史、文化を活かしたまちのにぎわいづくりを推進。
- ・マルシェの開催支援など商店街を中心とした市街地の活性化。
- ・みっきいハイキングによる観光地周遊や、ネスタリゾート神戸における三木市観光ギャラリーなど、観光施設どうしを「つなぐ」取組。

取組イメージ図(みき歴史資料館を拠点にしたイメージでの一例)



## みき歴史資料館（H28年5月オープン）

### 【各種イベントの事例】

- ・「花かごをつくろう」  
美吉籠の職人と一緒に竹を使った花かごを製作
- ・「マイ箸づくり」  
三木の鉋を使い、マイ箸を製作
- ・「わくわくクイズラリー」  
三木金物まつりとの協賛企画。  
まつり会場から当館をはじめ、金物資料館、堀美津美術館とをつなぐ仕掛けづくりを実施。

### みき歴史資料館（旧図書館）

- ▶ 所在地 上の丸町4-5  
☎82-5060
- ▶ 開館時間 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- ▶ 休館日
  - ・月曜（祝日の場合は開館）
  - ・祝日の翌日（祝日の翌日が土曜・日曜の場合は開館）
  - ・年末年始（12月28日～1月4日）
- ▶ 入館料 無料（企画展等は有料の場合があります。）



## 商店街でのマルシェや各種イベント支援

- ・みき元気マルシェ
- ・緑が丘さんさんマルシェ

猿の演技やトークショー等のイベントやさまざまな屋台でにぎわう明盛商店街の「みき元気マルシェ」。

他にも緑が丘のサンロードでもマルシェを開催。



## レトロヂ

「レトロな路地裏」をコンセプトとしたナメラ商店街の「レトロヂ」。昔懐かしい雰囲気の特徴。



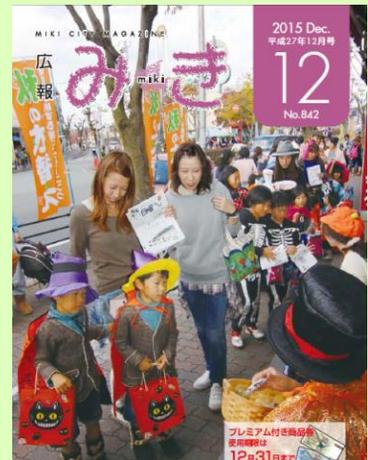
## ナメラン

ナメラ商店街や三木城跡の周回コースを走り、三木の歴史や文化を体感するリレーマラソン「三木ナメラン」。



## ハロウィン

たくさんの子供たちが参加し、多世代がにぎわう緑が丘町の「緑が丘ハロウィン」。



## 観光コンシェルジュ

観光スポットや食などについて地域のふれあい拠点のスタッフ等が広告塔として口コミでPR。

(H28年度の取組)

- ・ガイド養成講座を実施。
- ・各公民館だけでなく、市内の農家レストランなどでも、観光パンフレットを設置し、口コミで市内周遊コースを紹介。



## みっきいハイキング

三木市の歴史や文化に触れるとともに、美しい自然を満喫することができるハイキング。

(コース例)

- 御坂サイフォン・紅葉の伽耶院コース
- ・緑が丘駅～どっこいさん～志染の石室～御坂サイフォン～千体地藏～伽耶院(解散)～緑が丘駅
- ※紅葉の伽耶院で、三木食づくりの会により名物販売(うどん、すし、ぜんざい等)。

【参加者数】 H27年度 … 760人  
H28年度 … 621人



## 三木市観光ギャラリー

主要な観光施設に三木市をPRするブースを設置。H28年度には、リニューアルオープンしたネスタリゾート神戸内にギャラリーを設置し、三木金物や日本酒などの市内特産品や観光地をPRし、観光客の市内周遊を促進。

(H28年度)

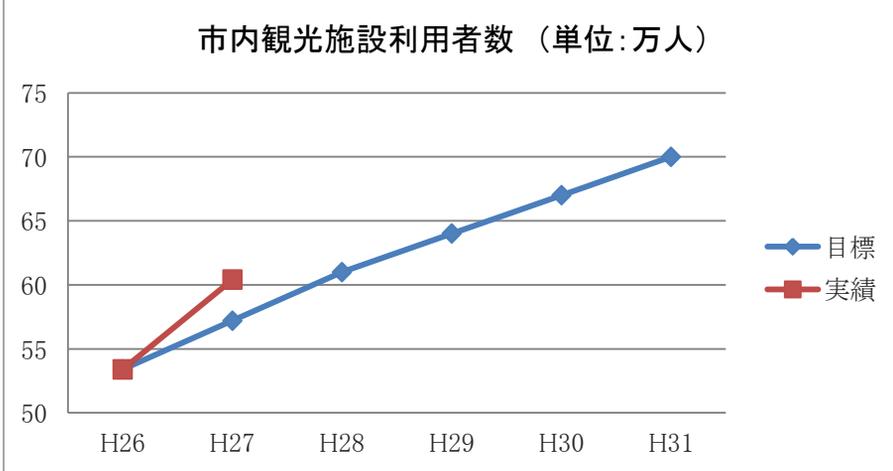
- 常設…各種パンフレット  
三木金物  
ハーブ商品  
美吉籠  
日本酒  
市内の作家による家具や玩具 など
- 夏……夏祭り  
秋……紅葉スポット  
金物まつり  
展示用の祭り屋台  
冬……山田錦まつり



## 市内観光施設利用者数

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	57.2万人	61万人	64万人	67万人	70万人
実績	53.4万人 (H26)	60.4万人	H28.9月時点 33.6万人			

※市内観光施設・・・三木ホースランドパーク、道の駅みき、旧玉置家住宅、小河家住宅、みき歴史美術館を指す。

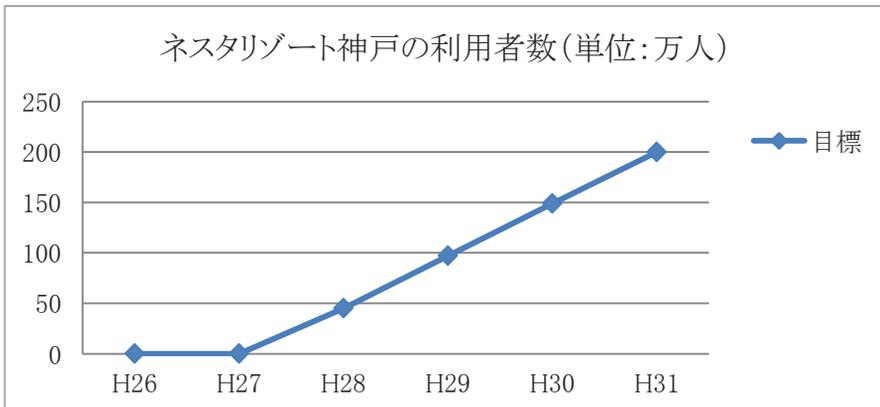


KPI判定
—
コメント
検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## ネスタリゾート神戸の利用者数

ネスタリゾート神戸が発表している初年度来場者数の目標は60万人(期間はH28.7月～H29.6月の1年間)

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	—	45万人	97万人	149万人	200万人
実績	旧グリーンピア三木の 実績値 20.6万人 (H26)	13.8万人	H28.12月時点 33万人			

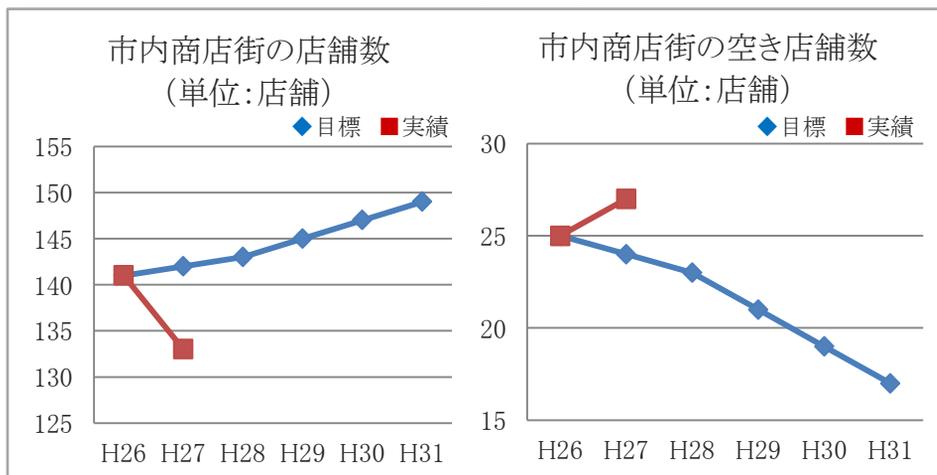


KPI判定
—
コメント
検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## 市内商店街の店舗数(空き店舗数)

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	142店舗 <24店舗>	143店舗 <23店舗>	145店舗 <21店舗>	147店舗 <19店舗>	149店舗 <17店舗>
実績	141店舗 <25店舗> (H26)	133店舗 <27店舗>	H28.12月時点 136店舗 <24店舗>			

※市内商店街・・・ナメラ商店街、明盛商店街、プリンスロード商店街、大和名店街、サンロード商店街を指す。



**KPI判定**

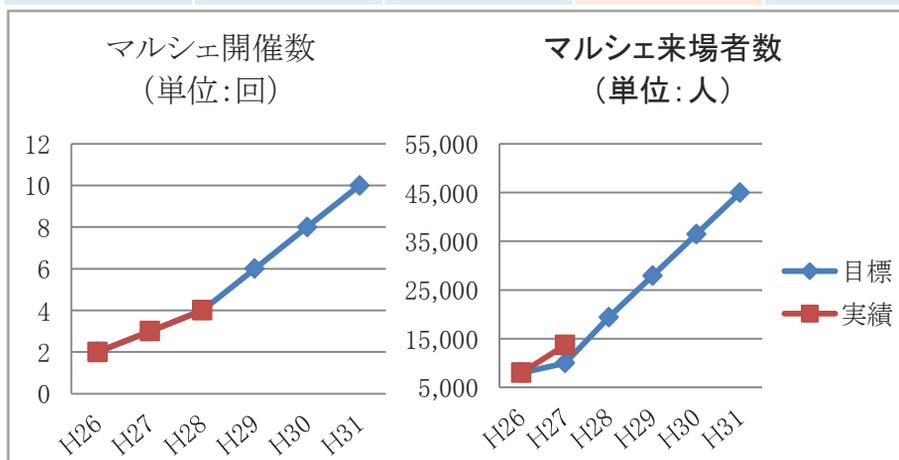
—

**コメント**

検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## マルシェ開催数・来場者数

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	3回 10,000人	4回 19,400人	6回 27,933人	8回 36,466人	10回 45,000人
実績	2回 8,000人 (H26)	3回 13,700人	3回 集計中			



**KPI判定**

—

**コメント**

検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。



## (1) 三木市生涯活躍のまちづくり事業

総事業費：9,050万円

国が提唱する「生涯活躍のまち」構想に基づき、高齢者と若い世代が共生していく新たなライフスタイルを市全体で進めていくなかで、まずは高齢化が進み、空き家が増加している緑が丘をモデルとして、まちの再生を推進する。

### 課題

- ・ 少子高齢化、若者の人口流出による、高齢化率の増加、空き家増加。
- ・ 多世代が共生できる新たなライフスタイルの構築。

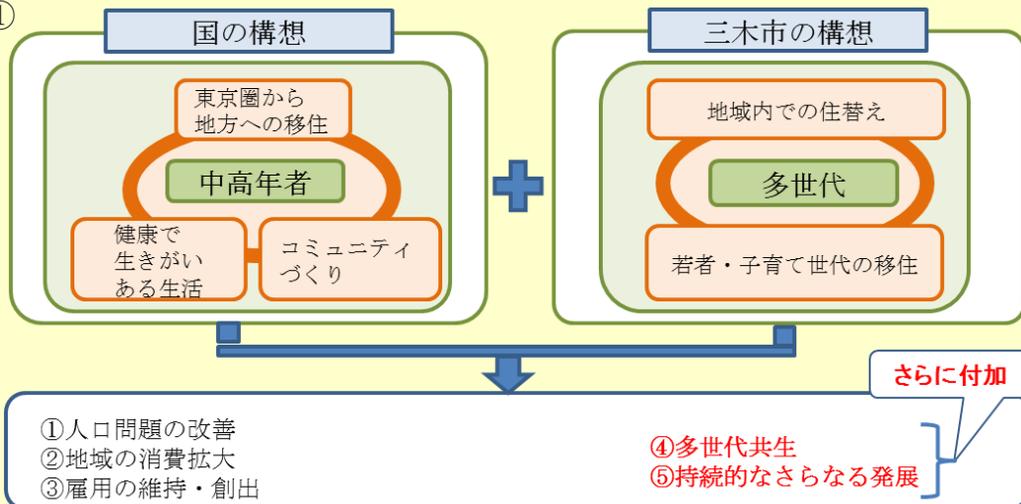
### 取組方針

- ・ 集合住宅及び戸建住宅エリアのゾーニングによる住み替え促進や高齢者を中心にしたサービス展開ができるサテライトを設置。
- ・ 多世代が交流できるような場所の創出。

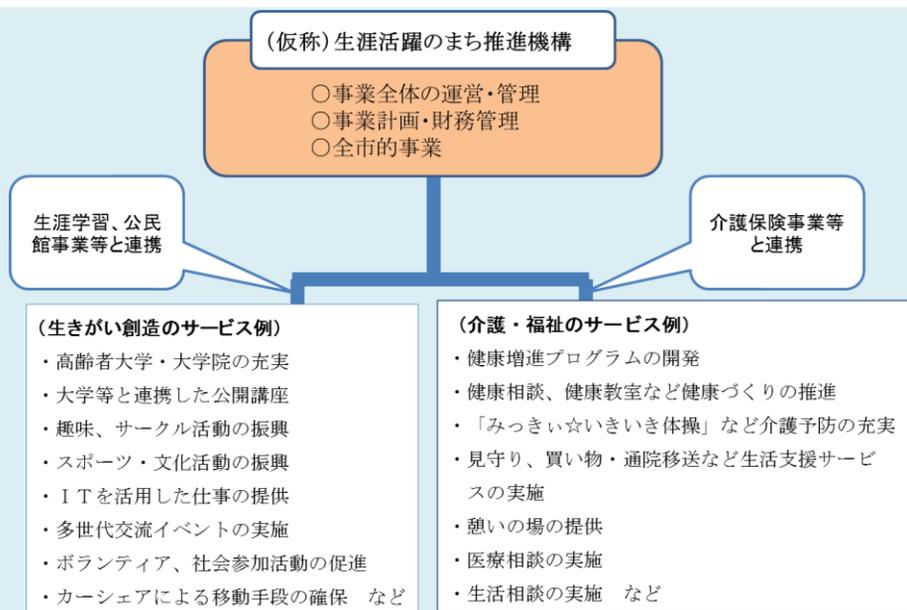
### 取組内容

- ・ 三木市では、国の構想に加え、市内での住み替え、若者・子育て世代の移住をも構想に取り入れ「多世代が共生する地域社会」を創り、人口バランスを整え、持続あるまちの発展につなげていくことが特徴。

#### 事業イメージ①



#### 事業イメージ②



# H28年度の主な取組

## 生涯活躍のまち推進機構の設置(H28新規)

多世代交流による豊かなまちづくりを推進するため、市、住民団体、民間事業者等で構成する（一社）三木市生涯活躍のまち推進機構をH29.3月に設立。地域団体との調整や事業を実施する拠点施設の準備を進めている。

## 24時間医療相談ダイヤル(H28新規)

健康に対する不安や病気・けがの対応に関する相談窓口を設置。24時間対応で、医師や看護師等の専門家によるアドバイスやカウンセリングを受けることが可能。



## 高齢者ファミリーサポートセンター設置(H28新規)

地域住民が高齢者の日常生活を支援するネットワーク構築をめざし、H28.10月、高齢者ファミリーサポートセンターを社会福祉協議会内に設置。高齢者を手助けする協力会員（有償ボランティア）と依頼会員（高齢者）との調整を実施。

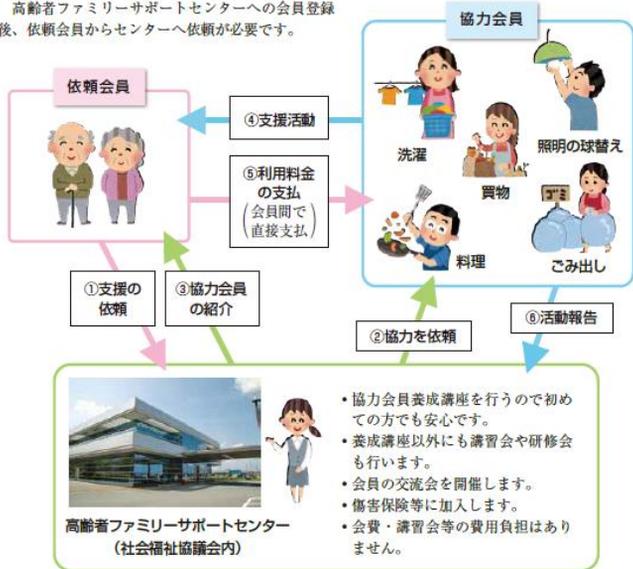
## 三木市PR映像の作成(H28新規)

定住移住PR動画を製作。ケーブルテレビCMやシネアド（映画館CM）で放送。また、定住移住パンフレットも作成し、子育て施策を中心に、三木市の魅力をPR。



## 高齢者ファミリーサポートセンターの概要

高齢者ファミリーサポートセンターへの会員登録後、依頼会員からセンターへ依頼が必要です。



## 移住定住PR動画・パンフレット



今回新たに誕生した「三木市定住・移住応援キャラクター」。広報みき3月号でネーミングを募集。



生涯活躍のまち構想のモデル地区(緑が丘地区)に限定した3つのKPIを設定。

### 戸建住宅への移住世帯数

緑が丘地区における戸建住宅を対象に、H27年度の転出入の差を基準とし、増減幅を比較する目標値。

区分	目標設定の 起点(実績)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標	—	2世帯 (転出入差 △25世帯)	10世帯 (転出入差 △17世帯)	30世帯 (転出入差 +3世帯)	60世帯 (転出入差 +33世帯)	100世帯 (転出入差 +73世帯)
実績	H27 (転出入差 △27世帯)	H29.1月時点 転出入差 △13世帯				

※緑が丘地区への転入出世帯数(市民課アンケートによる集計)  
 H27年度 : 転入50世帯 / 転出77世帯 / 転出入差△27世帯  
 H28年度(H29.1月現在) : 転入36世帯 / 転出49世帯 / 転出入差△13世帯

### 整備集合住宅への移住世帯数

緑が丘駅前に整備予定の集合住宅に住み替えした高齢者の世帯数。

区分	目標設定の 起点(実績)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標	—	—	—	—	50世帯	100世帯
実績	—	—				

### 生活支援サービス拠点利用者数

緑が丘に設置予定の生活支援サービス拠点の利用者数

区分	目標設定の 起点(実績)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標	—	—	100人	500人	1,000人	1,500人
実績	—	—	—			

※現時点では実績がないため、グラフ表記を省略。

<b>KPI判定</b>
—
<b>コメント</b>
検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。



## (2) ゴルフを核としたまちの活性化

総事業費 : 4,000万円

西日本一ゴルフ場が多い三木市の特徴を活かした事業を展開し、「ゴルフのまち三木」を広くPRするとともに、ゴルフ産業を振興し、まちの活性化につなげる。

### 課題

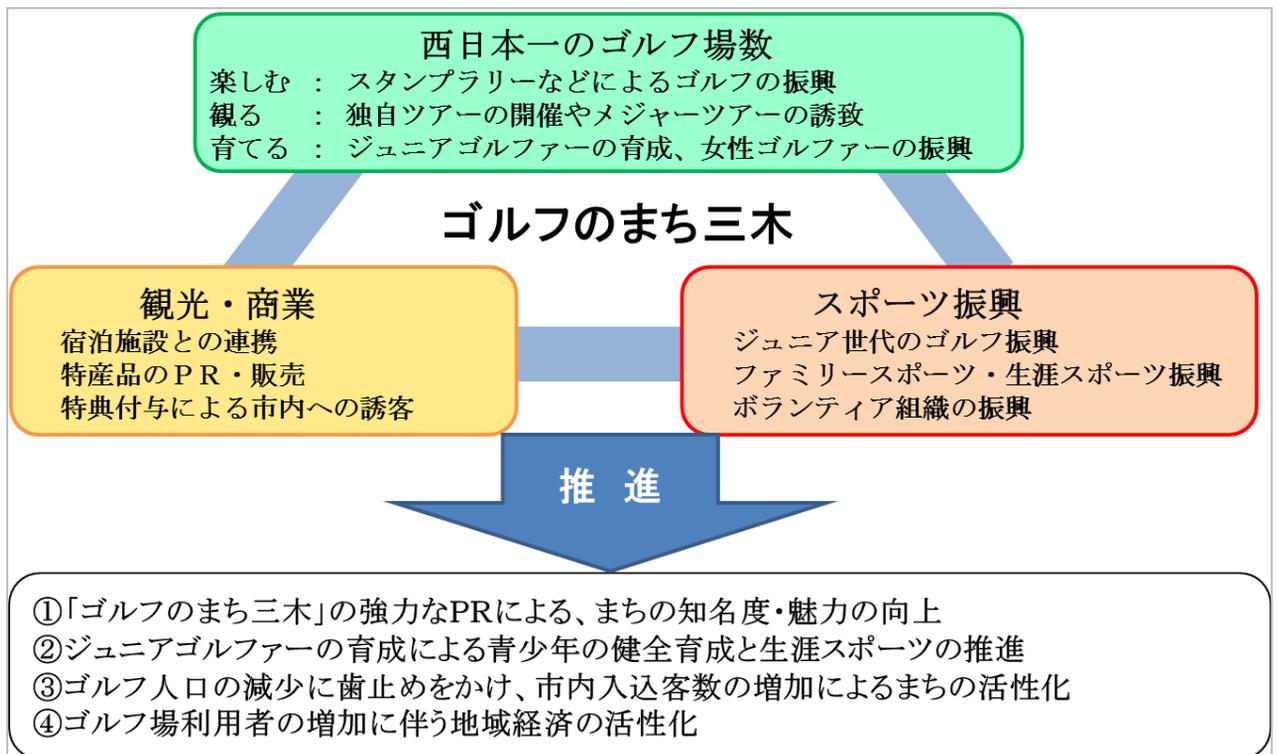
- ・レジャーの多様化や高齢化に伴い、ゴルフ人口が減少しており利用者の維持、増加が必要。
- ・ゴルフ場利用者を市内の観光・商業施設へと誘導できていないため、ゴルフ場を活用した市内周遊が必要。
- ・ゴルフ人口の裾野を広げるとともに、ゴルフのまちをPRするため、子どもを中心としたゴルファー育成が必要。

### 取組方針

- ・ゴルフトーナメント開催によるゴルフ振興
- ・スタンプラリーを活用したゴルフ場の利用促進及び地域活性化
- ・ゴルフ体験やゴルフ教室開催によるジュニア育成

### 取組内容

- ・レディースゴルフトーナメントの開催
- ・スタンプラリーの開催
- ・ゴルフ教室やスナッグゴルフ大会の開催



## レディースゴルフトーナメント開催(H28新規)

- H28年7月、第1回三木市レディースゴルフトーナメントを開催。
- 94人の選手が参加。ギャラリーは大会2日間で480人。ボランティア70人が大会運営に参加。
- 優勝者には賞金のほか、三木市産キヌヒカ리를贈呈。



## スタンプラリー開催(H28新規)

各ゴルフ場を巡る仕組みづくりとして、スタンプラリー開催。また、スタンプ獲得の賞品として、市内特産品等を贈呈。

**賞品区分** ※スタンプ達成ポイントにより賞品が異なります。

達成ポイント	賞品
5	ゴルフボール1ダース
10	ゴルフボール1ダース
15	ゴルフボール1ダース
20	ゴルフボール1ダース

**賞品カタログ (概要版)**  
賞品交換期間: 平成28年10月1日~10月31日

5万円相当の特産品 or 市内共通ゴルフ場商品券 20スタンプ達成

3万円相当の特産品 15スタンプ達成

1万円相当の特産品 10スタンプ達成

ゴルフボール1ダース 5スタンプ達成

さらに、スタンプラリーで集めたスタンプを交換するだけで、市内共通ゴルフ場商品券1000円分をプレゼント!

## ジュニアゴルファーの育成(既存事業)

子どもを中心にゴルフ教室やスナッグゴルフ大会を開催。ゴルフのまちとして、ゴルファーの育成を実施。



スナッグゴルフとは、テニスボールに似た球をプラスチック製のクラブで打つ競技。三木市では全小学校に道具一式を配布している。

## 1000人コンペ(新規事業)

H28年4月、市内25カ所のゴルフ場で1000人コンペを一斉に実施。各ゴルフ場の優勝者25名、飛び賞5名、女性上位3名を、名門コース廣野ゴルフ倶楽部での決勝大会に招待。

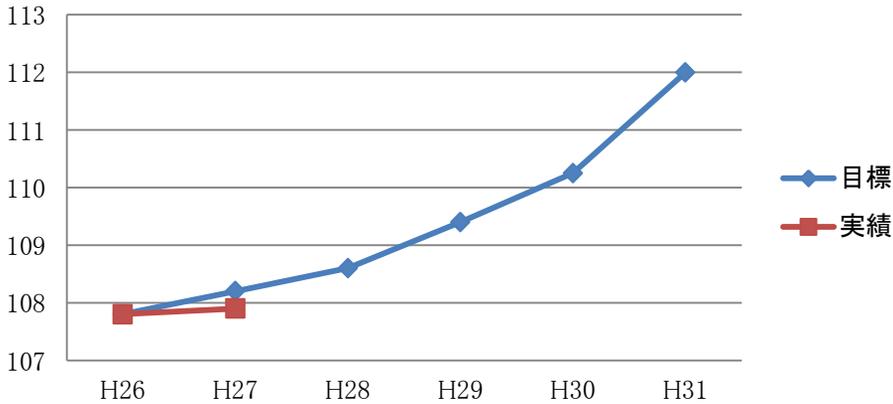
### 【新たな動き】

H29年度は1000人コンペを拡大し、「10,000人コンペ」として事業を拡充。

## ゴルフ場利用者数(プレイヤー数)

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	108.2万人	108.6万人	109.4万人	110.25万人	112万人
実績	107.8万人 (H26)	107.9万人	H28.9月時点 55.6万人			

ゴルフ場利用者数(単位:万人)



### KPI判定

—

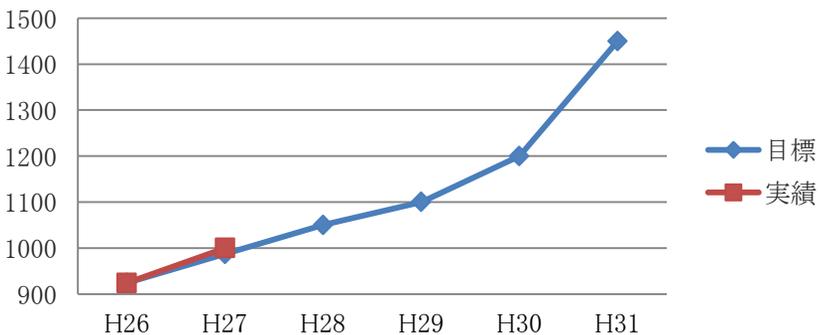
### コメント

検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## ジュニア育成のゴルフ教室及びスナッグゴルフ大会参加者数

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	987人	1,050人	1,100人	1,200人	1,450人
実績	924人 (H26)	1,000人	H28.12月時点 1,144人			

ジュニア育成のゴルフ教室  
スナッグゴルフ大会参加者数(単位:人)



### KPI判定

—

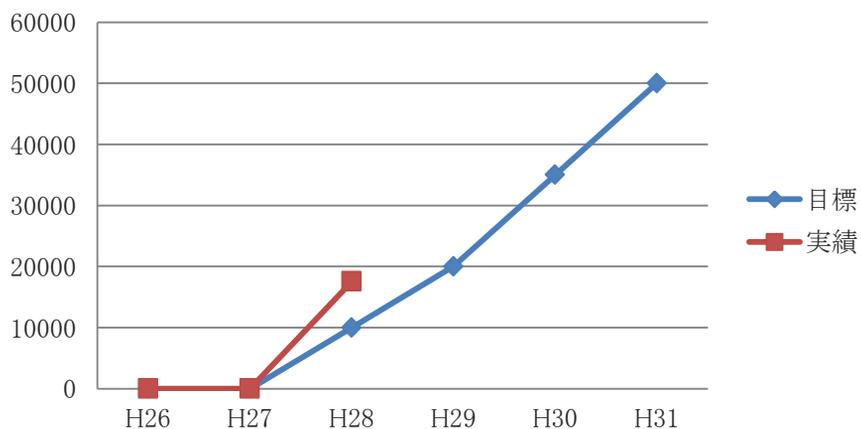
### コメント

検証年度の実績値が確定していないため、次回以降効果検証を実施。

## スタンプラリー参加者数

区分	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
目標	—	—	10,000人	20,000人	35,000人	50,000人
実績	—	—	17,560人			

スタンプラリー参加者数(単位:人)



### KPI判定



### コメント

目標達成率175%。  
想定以上の反響があり、  
H29年度も継続開催。

# 「新たな三木ブランドづくり」への挑戦

総事業費：1億円

若者を中心に人口流出が進んでいることから、三木市の新たなブランドであるハーブ産業を活用し、カフェテラスを建設することで、若者にとって魅力あるまちづくりを進める。

**課題**

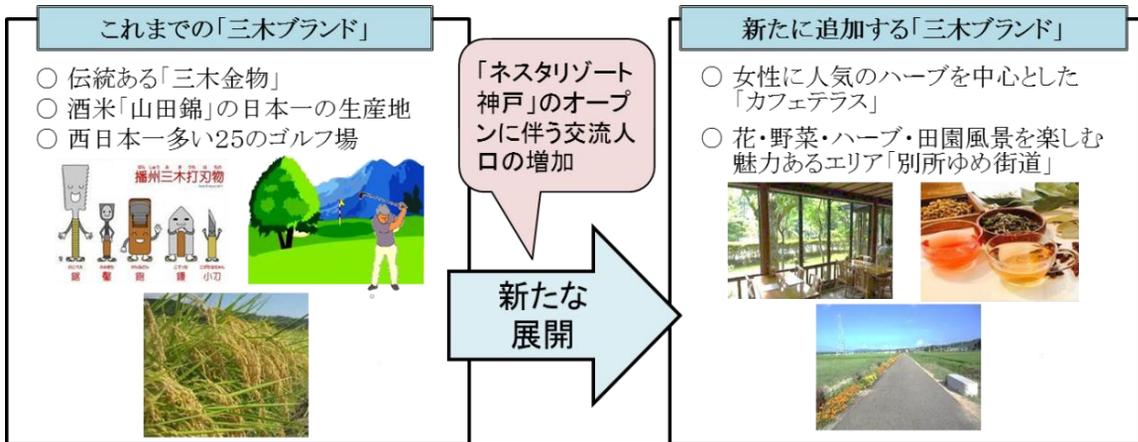
- ・三木市の新たなブランドづくり
- ・ハーブ産業を活用したまちの魅力づくりと市内周遊の誘引

**取組方針**

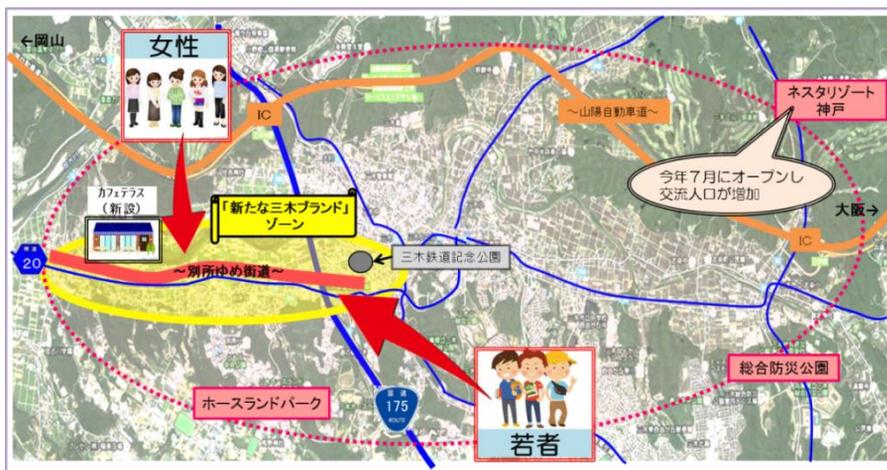
別所ゆめ街道にカフェテラスを建設し、ハーブ商品の販売促進

**取組内容**

新たなブランドづくりのイメージ



市内周遊イメージ



## 別所ゆめ街道カフェテラスの販売額

区分	目標設定の 起点(実績)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標	—	—	—	3,000万円	3,000万円	3,000万円
実績	—	—	—			

※この他、既述の「ハーブ産業化推進による販売額」、「市内観光施設利用者数」をKPIとして設定。  
 ※現時点では実績がないため、グラフ表記及び判定・コメント欄を省略。

